資料２

各機関の実施内容等

機関名	実施内容	反省点・問題点等
岩手県勤労者山岳連盟		
	第 29 回自然保護集会（5/19）において実施・参加を呼びかけ ①　早池峰山の「鹿食害」についての認識の共有化 ②　本年度の早池峰山し尿処理（5/27）→参加者（労山会員含み）68 名 ③　自然保護の取組み（清掃活動の実施：岩手山、早池峰山、五葉山、焼石岳等） →早池峰にごみは殆ど無し	
早池峰フォーラム実行委員会		
	1　第 14 回早池峰フォーラムを開催 ①　11/23、いわて県民情報交流センターで開催 ②　テーマ：ニホンジカと高山植物、参加者 50 人の予定 ③　基調報告：ニホンジカ生息状況と食害（東北森林管理局） ④　報告：ニホンジカの情報交換、携帯トイレ普及活動、野生動物との共存、意見交換 2　早池峰クリーン&グリーンキャンペーンへの参加 ①　メンバーが個人ごとに対応：携帯トイレ普及活動、し尿降ろし、移入種駆除 ②　県の事業が終了した後も、自主的な行動として実施 3　携帯トイレ普及キャンペーンへの対応 ①　小田越、河原の坊登山口でのアピールと現地でのレクチャーに積極的に対応 ②　ウィークデーにおける携帯トイレデーの実施状況を検証 4　岩木山フォーラムへの参加 ①　3/17、弘前観光舘で開催 ②　早池峰における保全活動の全体をパートナーシップの視点で報告 5　自然地域トイレ技術セミナーへの参加	①　グリーンボランティアやキャンペーンへの参加については、メンバーが個人として対応し、積極的に行動 ②　早池峰におけるニホンジカの生息状況を把握し、何らかの対策を検討すべきかどうか、担当部署においても対応しなければならないのではないか。 ③　登山者の事故への対応を管理員やボランティアの方が行っており、2 次災害防止の点からも抜本的な対策が必要である。（避難対策協議会の設置、実際の事故対応）

機関名	実施内容	反省点・問題点等
	①　2/20、京都教育文化センターで開催 ②　山岳や海岸などの自然地域におけるトイレの先進技術実証試験について研修	
早池峰をきれいにする会		
	①早池峰山山開き参加、②河原の坊トイレ管理、③うすゆき荘管理、④笠詰キャンプ場管理、⑤岳～タイマグラ道路清掃、⑥早池峰～河原の坊～小田越清掃、⑦移入植物の除去作業参加、⑧鶏頭山避難小屋清掃	
早池峰の未来を考える女性の会		
	会員各自が所属する団体の中や個人の立場で積極的に活動した。 ①　11/23、第 14 回早池峰フォーラム開催に協力 ②　10/2、遠野市で開催された「ニホンジカ対策フォーラム」に参加 ③　5/27、山頂トイレのし尿下ろしに協力 ④　「早池峰クリーン＆グリーンキャンペーン」では、小田越と河原の坊登山口及び登山コースや山頂において登山客にいろいろな対応をした。下山して来たその足で宮古に行き、津波災害の様子を見て帰るという登山客がいたが、「復興商店街などというのもあるので、買い物で支援してあげてください」と声をかけたこともあった。県のキャンペーン終了後も、早池峰ボランティアの会の自主活動に参加した。 ⑤　全てが当会会員の活動というわけではないが、グリーンボランティアとしては、大体朝 5 時半のシャトルバスで登山口に向かい、すぐ活動拠点のテント張り、携帯トイレのきめ細やか説明と販売、登山者名簿への記入促進、悪天候時の登山者へのアドバイス、高山植物の盗採監視、写真撮影やトイレのためコースロープを逸脱する登山者に気を付けたり、小田越の仮設トイレの流し水や手洗い水不足時の補給等は常に行っており、山頂と登山口周辺のタンポポ・オオバコなどの移入種除去、早朝に出発した登山者が登り始めて間もなくクマが横	①　登山者の必要な時開いていないので、河原の坊の管理員さんの活動開始時間を早くしてもらいたい。ハイシーズンは朝 6 時からにしてほしい。 ②　河原の坊の公衆トイレが男女どちらもほこりっぽくて、登山者（男性）から掃除が汚いといわれた。きれいにしてほしい。 ③　携帯トイレの普及は県が定めた方針となっており、グリーンボランティア発足当時、県は「官民協働で」と口をすっぱくして言っていたが、現状はグリーンボランティアに任せっきりである。グリーンボランティアが行けない時、携帯トイレの自動販売箱への補充と、登山者から携帯トイレについて尋ねられた時の対応を管理員さんがやれるよう、県が指導してほしい。 ④　シカが縦走路にも出ており、早池峰山にシカが侵入し始めているのは事実である。グリーンボランティアの有志でシカ道を見に行ったり、しょっちゅう

機関名	実施内容	反省点・問題点等
	切って行くのを見たという情報からクマよけ用に石油缶と棒をコース上の木の枝に取り付けたこともあった（小田越）。 ⑥　携帯トイレの普及に関連し、登山口の自動販売箱への携帯トイレの補充及び山頂への携帯トイレの荷揚げ、携帯トイレの仕入れ等にも関わった。補充には思っていても行けない日もあり、絶対に品切れは起こされないということにかなりの不安感があった。	シカのことが話題になっている程なのに、県は全く何もしていない。環境審議会の鳥獣部会で県に質問したが答えになっておらず、何かも発言したら、他の委員から早池峰地域保全対策事業推進協議会でやるように言われた。シカの問題は、どこで発言すれば県が聞いてくれるのか聞きたい。
自然公園保護管理員		
	①登山道の保守、点検　②登山に関する情報提供やマナー指導　③高山植物の観察、盗採、食害、踏み荒し等の有無	・　山頂周辺では用便跡が目立っている。それに伴い高山植物の踏み荒しも多くなっている。
岩手南部森林管理署遠野支署		
	・　6 月～10 月までの土曜、日曜及び祝日に巡視員（グリーンサポートスタッフ）4 名を配置し、高山植物保護等の啓蒙に努めている。また、森林官並びに当署職員による巡視のほか、早池峰クリーン＆グリーンキャンペーンや高山植物防止パトロール等に参加している。	・　9 月に早池峰山及び薬師岳において、巡視員からハイマツの葉を食害するマツノクロホシハバチの発生が見られたとの報告があった。なお、東北森林管理局管内では、山形県の朝日山地でも昨年から確認されている。
三陸北部森林管理署		
	①　森林生態系保護巡視員を 6 名配置し、高山植物保護等の啓発に努めた。 ②　盗掘・盗採防止に向け、事案を想定した関係機関の連絡体制整備（情報の共有化）及び合同訓練の実施（牽制機能の発揮）への参画	①　今年度、山頂トイレを全て携帯トイレブースにした影響もあり、登山道脇や登山口に排泄物が多々みられた。 ②　近年、トレイルランナーが増えており他の登山者への危険性がるとともに、登山道を痛めることになる。
盛岡自然保護官事務所		
	・　7/15、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンに参加、小田越登山口にて登山者に対する携帯トイレの普及促進等について活動	・　8/25 の岩手日報に掲載されたように、オオハンゴンソウ（特定外来生物）が繁殖しているようなので、貴重な固有の高山植物を守るためにも駆除、啓発活

機関名	実施内容	反省点・問題点等
		動等の対策を早急に講じる必要があると感じている。
花巻市		
	※　早池峰国定公園地域協議会事業を含む 1　自動車利用適正化対策 ①　シャトルバス運行について、運賃の改定を行い、運行方法を見直した。 ②　周知用チラシ、ポスターの配布及び掲示 ③　市ホームページ、広報への車両規制内容の掲載 ④　交通規制看板、駐車場案内看板の設置 ⑤　交通規制区域周辺地区住民への周知 ⑥　登山者、住民等からの問い合わせ対応 2　高山植物盗採防止対策 ①　高山植物盗採防止合同パトロールへの参加 ②　自然公園保護管理員による巡視等保護管理業務の実施 3　早池峰キャンペーン、移入植物の除去作業への参加	1　自然公園の管理体制について 自然公園保護管理員について県からの委託料単価は 4,714.5 円と低いため、市が上乗せしている。委託であれば、要する経費について全額払われるべきと考える。 2　特定外来生物の駆除について オオハンゴンソウ等の駆除について、継続して対応していく必要がある。
遠野市		
	1　自動車利用適正化対策 ①　交通規制チラシ、マナーガイド配布及びポスター掲示（市関連施設、観光施設等） ②　市 HP、CATV、市広報による交通規制等周知 ③　規制看板の設置（市道、県道沿い 5 基） ④　登山者等からの問い合わせ対策 2　高山植物盗採防止対策 ①　移入種植物駆除、盗採防止合同パトロール参加 ②　自然公園保護管理員 2 名による巡視等保護管理業務の実施	1　自然公園の管理体制について ①　自然保護管理員には、県からの委託料だけでは登山期間中の管理体制が不十分であるため、市で予算計上し上乗せして報酬を支払っている（上乗せ延べ 20 日分）。報酬額が低いため人材確保が難しい状況である。 ②　シャトルバスの運行期間中、管理員は始発が到着前の朝 5 時に出勤し、最終がでる午後 5 時頃まで勤務する。登山客が毎日来るため、休めない状況にあ

機関名	実施内容	反省点・問題点等
		る。 2　自動車利用適正化対策 ・　駐車スペースが無いため、便宜的に待避所等に駐車しているため、管理員はその対応にも追われている。
宮古市川井総合事務所		
	①　車両規制周知用チラシ、ポスターの配布及び掲示（庁舎、道の駅等） ②　市広報に車両規制内容の掲載 ③　車両規制看板、駐車場案内看板の設置 ④　シャトルバス江繋口バス停臨時駐車場の整備及び仮設トイレの設置 ⑤　登山者からの問い合わせ対応 ⑥　高山植物盗採防止合同パトロールへの参加 ⑦　自然保護指導員及び自然公園保護管理員の 5 名による巡視等保護管理業務の実施	
県自然保護課		
	①　平成 24 年度携帯トイレ使ってみでけ DAY を 6/10~10/8 実施 ②　案内標識の更新及び登山道に注意標識の設置	なし
県警本部生活環境課		
	・　合同取締り等の参加	・　登山口での広報、チラシ配布等実施回数が少ない。（高山植物盗採防止パトロール関係）
県南広域振興局保健福祉環境部		
	①　当部ホームページによる交通規制等の周知、交通規制及びマナーガイド等全国関係団体に送付 ②　早池峰キャンペーンには補助を含め 11 回、し尿担ぎ下し、高山植物盗採防止合同パトロール 2 回、移入種駆除 3 回、早池峰グリーンボランティアの会自主	・　試験的に少人数体制でオオハンゴンソウの駆除に取り組んだが、予想以上の作業量であり、次回より関係機関の協力を要請したい。

機関名	実施内容	反省点・問題点等
	活動等に参加 ③　早池峰保全対策事業にて、仮設トイレ設置、携帯トイレ回収等を委託 ④　自然公園保護管理員協力のもと、ニホンジカ侵入情報をデジタル赤外線カメラを設置のうえ確認	
沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター		
	①　盗採防止パトロール参加 ②　移入種駆除活動参加 ③　山開き式典への参加 ④　グリーングリーンキャンペーン参加 ⑤　啓発リーフレット配布	―